

活動計画書

法人名	特定非営利活動法人 文化部活動の地域移行支援ネットワーク					
活動名	文化部の地域移行に向けた指導者人材発掘事業					
活動期間	令和6年6月15日 ~ 令和7年2月15日					
申請活動区分・分野	活動区分名	○ SDGs推進活動助成		自立促進活動助成		
	分野名	○ 人間	○ 豊かさ	地球	平和	パートナーシップ

1. 申請する活動の目的

<200字程度> 申請する活動により解決を図る地域課題、社会課題

埼玉県教育委員会により中学校の部活動改革に向けた様々な検討・取り組みが行われている。学校主体の活動から地域主体の活動へ移行していくことが目標であるが、運動部・文化部共に指導者の不足が一番の課題となっている。文化部においては社会人による地域のクラブ・サークルへの中学生受け入れも一つの方法として検討されているが、指導への不安から現状では受け入れ態勢が整っていない。

<200字程度> 上記の課題に対し、申請する活動が必要となる理由

地域の文化系クラブ・サークルに所属する社会人も指導者となって子どもたちと共に文化に親しむ活動が必要である。コミュニケーションスキルの一つである「コーチング」は適切な問いかげによって相手自らの考える力を引き出す方法で、専門的な知識や指導経験を問わず活用することができる。コーチングを活用することで「教え込む指導者と習う子ども」のイメージから脱却し、指導への負担を軽減できると考えられるからである。

2. 申請する活動の内容

<200字程度> 申請する活動の概要

埼玉県内の文化系クラブ・サークルに所属する社会人、あるいは指導者を目指す大学生・社会人200名程度を対象として地域部活動指導者確保のためのコーチング講座を開催する。アクセスしやすいターミナル駅を最寄りとする県内5か所の会場で開催することで、どの地域からも参加しやすくする。各回終了後には相談や情報交換が出来る自由時間を設け、参加者同士での交流の他、希望者には各地域の部活動指導者人材バンクを紹介する。

<200字程度> 申請する活動の目的を達成するための実施体制、他団体等との連携
 文化書を熟知する認定コーチが講師を務める。県内中学校に勤務する部活動指導員がスタッフとして加わり、参加者からの相談を受け付けると共に地域の部活動指導者人材バンクに繋げる。イベント開催市町村の教育委員会後援を申請し、広報面の協力を仰ぐとともに、各地域の文化協会ほか文化系クラブ・サークルへ参加を呼びかける。

<200字程度> 申請する活動の目的を達成するための助成金の活用方法
 助成金を活用することにより複数回・複数会場の開催が可能になり、偏りなく県内全域の文化系クラブ・サークルに所属する社会人あるいは指導者を対象とする大学生・社会人を対象として開催することができる。

3. 申請する活動の計画

<200字程度> 申請する活動の目的を達成するための事業計画
 川越市、さいたま市、春日部市、熊谷市、秩父市の5会場にて各2回ずつ開催する。各会場で同内容を平日夜と土日昼の時間帯に行うことで、より多くの参加者を見込む。講座終了後に参加者からの相談を受け付けると共にアンケートを実施し、今後の課題や必要とされている支援を調査する。また、相談内容とアンケートから5つの地域の傾向性や共通点を洗い出し資料を作成、各地域教育委員会と共有し県全体の部活動改革に役立てる。

具体的な計画

活動の名称	実施時期	実施場所	活動の種類	活動の内容
講師打ち合わせ	6月下旬	法人事務所ほか	打合せ	講座内容の打ち合わせ
教育委員会後援申請・打ち合わせ	7月中旬	法人事務所ほか	打合せ	イベントを開催する各市町村へ申請・広報の打ち合わせ
参加案内作成・配布	8月中旬	法人事務所ほか	広報	各市町村文化協会および文化系クラブ・サークルへの広報
SNSによる広報	8月中旬～12月下旬	法人事務所ほか	広報	講座内容の紹介や参加者の声などを全イベント終了まで発信
コーチング講座・相談会	11月初旬	ウェスタ川越会議室	イベント	西部地域開催
コーチング講座・相談会	11月下旬	浦和コミュニティセンター集会室	イベント	中央地域開催
コーチング講座・相談会	12月上旬	春日部市民活動センター会議室	イベント	東部地域開催
コーチング講座・相談会	12月中旬	熊谷コミュニティセンター会議室	イベント	北部地域開催
コーチング講座・相談会	12月下旬	秩父宮記念市民会館会議室	イベント	秩父地域開催
アンケート結果書類作成	1月中旬	法人事務所ほか	その他	アンケートの回答を元に共有用の資料を作成

4. 申請する活動の効果

<200字程度> 申請する活動の効果

文化系クラブ・サークルに所属する社会人がコーチング講座を受講し指導への不安を軽減することで、既存団体の中学生受け入れを前向きに検討する団体が増加すると考えられる。また、アンケート結果を県内教育委員会と共有することにより、指導者となり得る人材に今後必要な支援を検討することも可能である。指導者になり得る人材と教育委員会を繋ぐ効果も期待できる。

<200字程度> 申請する活動の効果を得るために、申請者の特徴や強みをどのように生かすか

当法人は部活動指導員および市民楽団の運営に携わる人材で構成されることから、特徴として学校現場と地域の文化活動に詳しい点が挙げられる。部活動改革を進める教育委員会と地域の文化活動との関係が希薄であることが指導者不足の原因の一つとして考えられる。このことから、当法人が双方を繋ぐ役割としてこれまでの経験とノウハウを活かすことができると考えられる。

<各項目100字程度> SDGsの17の目標に対する活動の効果(最大3個まで記入可)

1	目標名	4 質の高い教育をみんなに	←17の選択肢から選択する
	効果	アクセスしやすい5箇所でのコーチング講座開催で、住んでいる場所に限らずコーチングを学ぶことができ、また指導者として地域の中学生たちに還元することができる。	
2	目標名	11 住み続けられるまちづくりを	←17の選択肢から選択する
	効果	コーチングのスキルにより異世代との交流も図りやすくなる。地域で世代を越えて活動するクラブ・サークルが増えることで、孤立化を防ぎ、心身ともに健全な社会生活を送るためのセーフティネットの一つとなる。	
3	目標名		←17の選択肢から選択する
	効果		

5. 活動の継続・発展について

<200字程度> 活動を継続的に行うための課題、活動の継続性を高める方法、活動を発展させるための取組はどのようなものか

指導者になり得る人材を集める、また指導者を長く続けてもらえるようにするには継続的な支援が必要である。必要とされている支援を鮮明にするため、事業本番当日の参加者との交流、およびアンケートを重視する。助成金を活用することで県内全域から参加者を集めることができ、現場の声をより細やかに反映した支援が実現可能となる。

活動収支予算書

法人名 特定非営利活動法人 文化部活動の地域移行支援ネットワーク
 活動名 文化部の地域移行に向けた指導者人材発掘事業

1.収入の部		617,000 円							
項目	予算額(円)	積算・内訳等							
a.助成金交付申請額	500,000	※千円未満切り捨て							
b.自己資金	17,000								
	17,000	←自己資金のみ直接金額を入力する							
c.活動実施による収入等	100,000	数値	単位	×	数値	単位	×	数値	単位
コーチング講座参加費	100,000	500	円	×	20	人	×	10	回
	0			×			×		
	0			×			×		
	0			×			×		
	0			×			×		
d.その他	0	数値	単位	×	数値	単位	×	数値	単位
	0			×			×		
	0			×			×		
	0			×			×		
	0			×			×		

2.支出の部		617,000 円							
項目	予算額(円)	積算・内訳等							
a.会場費	41,800	数値	単位	×	数値	単位	×	数値	単位
ウェスタ川越会議室	7,800	780	円	×	5	h	×	2	日
浦和コミュニティセンター集会室	8,000	800	円	×	5	h	×	2	日
春日部市市民活動センター会議室	8,000	800	円	×	5	h	×	2	日
熊谷コミュニティセンター会議室	9,000	900	円	×	5	h	×	2	日
秩父宮記念市民会館会議室	9,000	900	円	×	5	h	×	2	日

